

研修 評価

研修名	家族をまるごと看護する～家族看護の考え方と家族アセスメント～				
領域	ニーズをとらえる力を高める研修	会場	看護研修センター	受講料	会 員:3,080 円 非会員:6,160 円
対象	ラダーレベル I・II 募集数(60人)応募数(80人)参加数(63人)会員数(59人)非会員数(4人)				
日時	令和 5 年 8 月 25 日 (金曜日) 10:00～ 16:00				
ねらい (目標)	多感な価値観・関係性をもつ家族をエンパワメントし、意思決定を支える看護を学ぶ 1) 「家族」の看護ニーズに気づき、家族看護の必要性を理解する 2) 家族をアセスメントの倫理・方法を学び、家族の対応力を高める				
講師	柄澤 清美				
内容・方法	講義及び演習 ・家族看護の定義と必要性 ・家族アセスメント ・家族援助の方法 ・事例を用いた家族アセスメント講習				
結果・評価 (受講者の意見感想含む)	○評価方法：アンケート ○自己課題の達成度：達成できた・ほぼ達成できたが 95.5% ○受講者の満足度：満足できた・ほぼ満足できたが 100% ・家族看護の今ここでという介入の難しさ、家族と患者と医療者の中での循環から問題点や介入の必要性を見出すやり方がとても勉強になった ・グループワークが充実していたので、みんなの考えがたくさん聞けて勉強になった ・内容はとてもわかりやすかった。1つ挙げるならば、今回の事例はどちらも在宅での話であり、1つは急性期やそうでなくても病棟での事例にして欲しかった				
企画の評価	○目標・内容 ・目標と内容の整合性については、100%が「整合性がある」と回答していた。 ○プログラムの妥当性 ・経験年数1年以上5年未満が72.7%でありコロナ禍で家族と接する機会が少ない中で家族の関わり方を学べたと言う意見が多く職場で活かしてもらおう内容として妥当であった。 ○事前準備・当日の運営など ・円滑にグループワークが実施できた。感染対策として定期的に換気を行った。スライドから講義になったときに電気をつけるのを忘れていたことがあった。				
課題	・アンケート回収率35%と低かった。会場でアンケートを入力していただけるように依頼していく				
担当者	教育委員				